

# 瞳輝いて



渡辺 楓 さん  
(吉田小6年)

## 夢は大きくオリンピック出場!!

2008年北京オリンピックから正式種目となるBMX。今後の目標はそのオリンピック出場と語る楓さんは、少しはにかみ屋さんの11歳。

BMXをはじめたきっかけは、お兄ちゃんや仲の良い従兄弟がやっているのを見てからで、自然と興味を持ちはじめたとか。

全国大会となるジャパンシリーズは、笠岡や大阪など全国5カ所で開催されるレースの合計ポイントで争われます。楓さんは、今年のジャパンシリーズで破竹の5連勝で堂々の優勝。3年連続3回目の快挙を成し遂げ、世界BMX選手権オランダ大会の切符を手に入れました。

「初めての世界大会だけど、やってみないと分からない。入賞してファイナル(決勝)まで残りたいです。」と、意気込みも十分。地域の人たちの協力も励みになるそうで、今回は横断幕を作って暖かく応援してくれています。

みんなの期待を一身に浴びて、これからもがんばれ、楓ちゃん!!

## 展覧会のご案内

### 特別陳列「竹喬と俳句」

7月24日(土)～10月11日(祝)

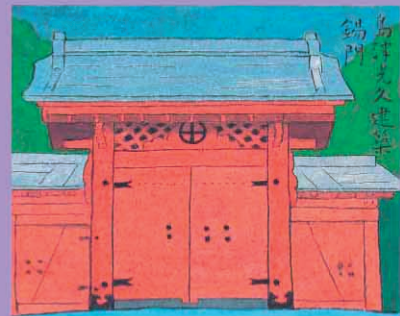
竹喬作の俳句を紹介するほか、季節の作品も展示します。



〒714-0087  
笠岡市六番町1-17  
TEL.63-3967  
ホームページ  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「天皇の世紀」の挿画を描くにあたり、竹喬は過去のスケッチ帖から明治にふさわしい題材を探すほか新たな取材も行った。昭和四十五年の五月末には鹿児島を訪れ、次のような文章を寄せている。「海峡をへだてた桜島は、今も煙をはいて何となく熱っぽい感じである。島津藩主を中心とした幕末の様相、南国ということもあって、海外との交流、接触に特色が生れている。」鹿児島では島津家の別邸であった仙巖園(通称磯庭園)や尚古集成館、桜島などを訪れ、名産の枇杷のスケッチもした。ところが京都の自宅に戻った竹喬は、スケッチブックを入れたバックを鹿児島空港に置き忘れたことに気づくのである。朝日新聞鹿児島支局長のおかげで荷物は戻ってきたが、そんなに大切なものを忘れたのは初めてだったという。

描かれている「島津の錫門」は、島津光久が一六五八年に邸宅を構えた当時のものと伝えられる。柱も扉も朱塗りのうえ、屋根は薩摩藩特産の錫で葺かれ、上部には島津家の家紋も見えてとれる。



すずもん  
「島津の錫門」

小野竹喬 作

朝日新聞「天皇の世紀」挿画  
昭和45年8月17日掲載  
11.4×14.0cm

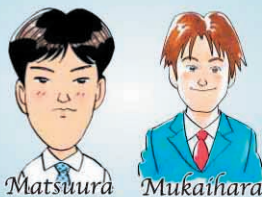
## 竹喬美術館の光彩 20

## 係から

八月九日から十一日にかけてはいよいよ国体リハーサル大会。笠岡で開催されるのは、「第34回女子全日本教員バスケットボール選手権大会」です。今月号でも紹介していますが、全国から二十六年の教員チームがやって来て、来年の国体本番にも負けず劣らずの熱戦が繰り広げられます。皆さんもぜひ会場で、観戦・応援してください。

六月二十六日から開かれていた恒例の土曜夜市も、夏休み初日となった七月十七日が今年最後とあって、多くの親子連れが訪れ、夏の夜のひと時を楽しんでいました。中でも金魚すくいのコーナーでは、小さな子どもたちがビニールプールを取り囲み、一匹でも多くすくおうと、お父さんやお母さんのアドバイスを受けながら一生懸命がんばっていました。

## 今月の表紙



Matsuyura Mukaihara

発行日/平成16年8月1日  
発行/笠岡市役所  
編集/まちづくり推進課  
〒714-8601 笠岡市中央町1-1  
Tel.69-2110

印刷所/株式会社 正文社印刷所 ☎66-1687

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>  
メールアドレス: [kouhou@city.kasaoka.okayama.jp](mailto:kouhou@city.kasaoka.okayama.jp)



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています